

EPAハノイ便

特別号

平成 29年 3月 2日

ARC ベトナム校

発行

EPA候補者 陛下に謁見

3月2日、天皇陛下がベトナムにお越しになりました。アークのEPA介護福祉士候補者4名は、青少年との懇談会で陛下に謁見できました。

まず、代表者が自己紹介しました。「陛下、お目にかかれて光栄でございます。私は、グエンティハインと申します。アークアカデミーの介護福祉士候補者です。私たち200名は1年間日本語の勉強をして、今年の5月に日本へ行く予定です。日本で日本語の勉強や介護の仕事をしながら、国家試験合格を目指します。そして、長く日本で働きたいと思えます。」



緊張した表情の代表者。文廟の前。

その後、陛下と会話をしました。以下陛下との問一答です。
まずは、ハインさん。

陛下「日本にどのくらい行ってらっしゃったんですか。」

ハイン「日本に一度も行ったことがありません。」

陛下「日本語はどのくらい勉強しましたか。」

ハイン「1年間勉強しました。」

陛下「そうか、1年間だけですか。日本語がすごく上手ですね。」

ハイン「まだまだでございます。分からないことがたくさんあります。」

陛下「日本は、どこへ行く予定ですか。」

ハイン「横浜市へ行く予定です。」

陛下「日本は高齢者が増えていますから、手伝ってくださり、嬉しいわ。」

ハイン「はい、がんばります。」

陛下「介護の試験がありますね。難しいですよ。日本で仕事も勉強もがんばってくださいね。」

ハイン「はい、国家試験はとても難しいので、頑張っ合格したいと思います。ありがとうございます。」

続いて、チュンさん

陛下「日本のどこに行きますか。」

チュン「私は、東京の西久留米市に行く予定です。ございます。」

陛下「どうして日本に行こうと思ったんですか。」

チュン「日本のお年寄りの役に立ちたいし、ベトナムと日本の懸け橋になりたいと思いましたから。」



文廟の中にて

マイさん

陛下「日本語の勉強はどうですか。」

マイ「私にとって、日本語は、始めは本当に難しかったですが、毎日勉強を続けてだんだん好きになりました。」

陛下「どうして日本に行きたいんですか。」

マイ「私は、医療が進んでいる日本で、技術力のある介護福祉士になりたいと思ったからです。」

トウエツトさん

陛下「日本語の勉強はどうですか。」

トウエツト「とても難しいですが、面白いと思えます。」

陛下「何が面白いですか。」

トウエツト「漢字の勉強が一番面白いです。漢字を勉強する時には、人と物の形を想像しながら、勉強します。本当に面白いです。」

4人の感想

陛下にお目にかかれて、とても光栄でした。感動しました。陛下と話せることは、一生に一回だけだと思います。それで、すごく緊張しました。でも、両陛下はとても優しい方でした。なので、うまく話せました。陛下に握手していただいたので、言葉にできないぐらい幸せでした。両陛下の期待に答えて、これからもがんばっていきたいと思います。とてもいい思い出になりました。ありがとうございました。



謁見の後、取材を受ける候補者

代表者は、陛下に、笑顔で大きな声で、お話しすることができました。取材にもしっかりと答えることができ、堂々たる度胸の良さを感じました。

青少年との懇談会や、レセプション参加を通して、お優しい陛下にお目にかかることができました。日本語教育を通して、こんな誇らしい行事に参加させていただき、光栄な気持ちでいっぱいでした。今後、社会の役に立つ日本語教育を目指していきたいと思えます。

アークアカデミー EPA事業部(え)



陛下に、介護福祉士候補者が謁見する様子
TBS ニュースより
2017年3月3日

